

データ加工方法

Q06 StatWorks を使って解析前にデータ加工を行っています、なかなか効率よくできません。何かコツのようなものがありますか？

A06 StatWorks でもできますが、Excel を併用する方法がお勧めです。

StatWorks ではデータ加工に関する機能が、いろいろなところにあるため、少しわかりにくいかも知れません。

主なデータ加工は以下のところで行うことができます。

- (1) 「編集」－「変数情報の一括編集／変数変換」を使う。

計算式を入力して、新しい変数を生成することができます。

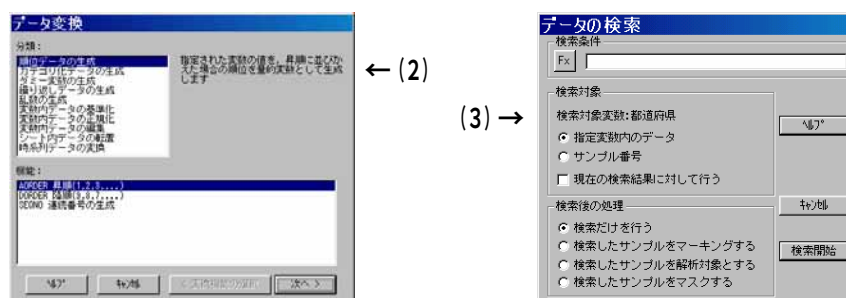


- (2) 「手法」－「データ変換」を使う。

カテゴリデータの作成、データの基準化などの加工を行うことができます。

- (3) 「編集」－「サンプルの一括指定／検索」を使う。

条件でデータの選択やマスクをすることができます。

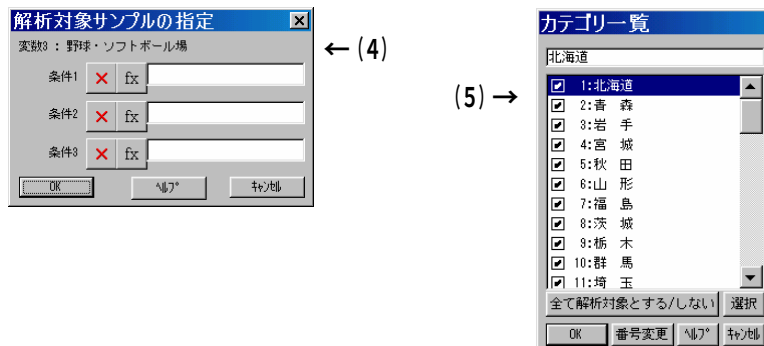


- (4) 量的変数セルのダブルクリックを行う。

「解析対象サンプルの指定」を行うことができます。

(5) 質的変数セルのダブルクリックを行う。

解析対象にするカテゴリ、しないカテゴリの指定ができます。

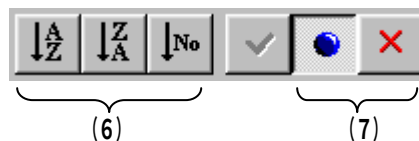


(6) データをソートする。

昇順, 降順, サンプル番号順のソートを行うことができます。

(7) 個々のサンプルや変数をマスクする。

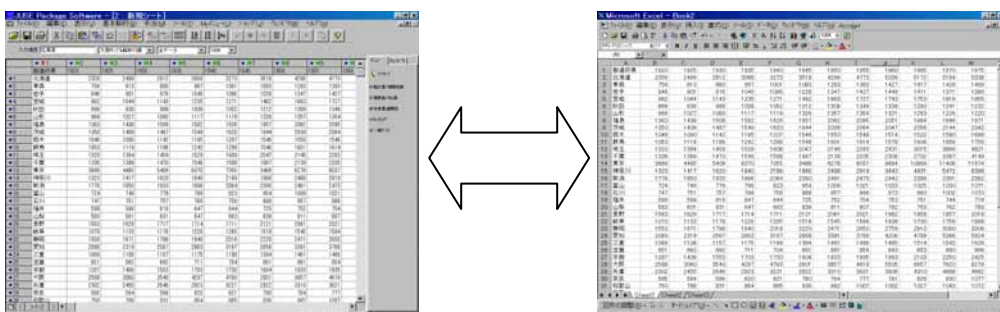
サンプルや変数を解析対象にする／しないの設定ができます。



これらの機能を組み合わせれば、ほとんどのデータ加工が行えます。

しかし、最近は日常業務で Excel を使用することが多いので、Excel ワークシートと操作性が異なるためデータ加工が思うようにできないということもあるようです。その場合は、「データ加工は Excel を併用する」という方法を用いて下さい。計算式を入力しコピーする、データにフィルターをかける、データにソートをかけた後で加工する、…など Excel の方が簡単にできる加工も多いのです。

慣れないうちは StatWorks と Excel の間のデータコピーなど、面倒なことも少なくありませんが、StatWorks の中だけで加工を行おうと考えるよりはるかに効率がいい場合もあります。



掲載されている著作物の著作権については，制作した当事者に帰属します．

著作者の許可なく営利・非営利・イントラネットを問わず，本著作物の複製・転用・販売等を禁止します．

所属および役職等は，公開当時のものです．

■公開資料ページ

弊社ウェブページで各種資料をご覧ください <http://www.i-juse.co.jp/statistics/jirei/>

■お問い合わせ先

(株)日科技研 数理事業部 パッケージサポート係 <http://www.i-juse.co.jp/statistics/support/contact.html>